

B & G 「海洋体験クルーズ」に参加して

B & G財団主催「平成24年度B & G海洋体験クルーズ」が3月25日から30日の6日間小笠原諸島で行われ、本町からは未来を拓く人づくり推進事業を活用し、和寒中学校3年生の鬼頭壮一郎さん、同1年生の加藤大雅さんの2名が参加しました。参加者からの感想をご紹介します。



「B & G体験クルーズで学んだこと」

和寒中学校3年 鬼頭 壮一郎

3月25日から始まったB & G体験クルーズで私は、小笠原諸島で豊かな自然と素晴らしくきれいな海を体で感じることができました。

小笠原諸島の海はエメラルドグリーン色で、今まで見てきた海とは全然違っており、固有種の植物や日本では小笠原諸島でしか見られない植物などを探するという活動をしてきました。

他には太平洋戦争のときに使われていた洞窟を見たときに、洞窟の中で戦争中の日本をイメージしてみると、とてもリアルにイメージできてしまい、言葉では表せない恐怖心でいっぱいになりました。

このB & G体験クルーズは、関西弁の人やアクセントの違う仲間がいて、初対面の人と生活するというのも大切なことで、とても面白い体験になりました。

B & G体験クルーズでは、学校で学べないことをたくさん学ぶことができ、本当に参加してよかったと思います。



体験クルーズの仲間と部屋で記念撮影
(右から2番目が鬼頭さん)

「B & G体験クルーズで心に残ったこと」

和寒中学校1年 加藤 大雅



体験クルーズの仲間とカメと浜辺で記念撮影
(左が加藤さん)

僕は、B & G体験クルーズに参加して心に残ったことと学んだことがあります。

心に残ったことは3つあり、1つ目は小笠原で見た風景がきれいで、特に海はとてもきれいな青とサンゴが集まってできた緑のところがありとてもきれいでした。2つ目は、シュノーケリングをしたときに、サンゴやエイなどの生き物を間近で見ることができたことに感動しました。3つ目はカヌーに乗ったとき、初めて会う仲間と2人でカヌーを漕ぐので、最初は息があわなかったけれど、途中から息が合うようになり速く漕げるようになったことです。

学んだことは約束の時間に遅れるとたくさんの人に迷惑をかけ、やること全てが遅れてしまうので時間を守ることは、とても大切なことだと学びました。

最後に僕は、小笠原で学んだことをこれからの学校生活に生かしていきたいです。